

自由連合

Libera Federacio
西正 1970年

11月23日

N-ro. 22

岐阜市本町354
向井孝方

自由連合社

定価 30円
送料共
いりふ

振替口座
大阪 1264
自由連合社

to L.M.
ゆひなまじむう
へーコンエッグ
たまたいさうん
from S.C.

自由連合—いくつなの問題 (1)

中国有名詞とその訳、普通名詞の訳

1 (序論) 封筒がきの意味

自由連合、今日は一ハ〇〇部へ
毎号50くらいいる。ところが、
これを送るにの宛名がきが大へ
ん。宛名印刷の器機を買いにい
という意見が出た。
ぼくは反対。なぜ? もちろん
お金の問題やない。
①宛名がきは、だれでも容易に
やれる。そして自由連合とアヤシ
い関係が結ぶべく訪ねてきた彼・彼
女にとって、最初の不可欠の仕事
となる。

②名簿カードの一枚一枚を彼は
手にとってみる。読めんや、変
な地名。宛名をなきななら彼は、
どこかで読者の名前を記憶する。
「アッタ人はオボエあるマラ」
その記憶は、送られてきたアン
ケートをよむとき、またプリント
訪ねてきた誰かと記憶するとき、
ああ、あの...と蘇るおみええ。
そのとき彼は、一般の読者、単
なるアンケートの送り手だった
昨日までの彼でなくなつたんであ
る。そして昨日までの彼でもある
—他者と、アヤシイ関係をつくり
出す自由連合のものに、自分なな
たんである。

③とすれば宛名印刷器機は、自
連の成立基盤ともいうべきへ関係
への破壊者やないか? 彼なら仕
事をうばって失業させるものやな
い。合理的器機導入断固拒絶。
④へ自由連合5号6号の宛名がきを
したのはONさんや。彼は、
自役の旅立つ前夜、6号の宛名が
きを徹夜でやりとげ、だまってそ
れを机の上にそろえて置いて、ひ
たり出かけていったのだ。—彼女
はぼくらにバトンタッチしたもの
のこしたものは一体なんやったん
か—

⑤器機導入を提議したA君ら
はいま宛名がきをやっていない。
だれ自分だせんぞ、今日は誰に
してもらおう? と心配せんならん。
つまりアレシ役がのこつてると

云うなら、それは宛名がきの卒業の
仕方、バトンタッチの仕方なれるい
のや。つまり、宛名がきをどのよう
に次へ伝達しようとしたか、その姿
勢はどうあつたかの問題や。
もっとも具体的なへ関係へとへ連
合への問題として、宛名がきをどう
とらえたいかという問題や。

ぼくらが、自由連合運動やない。組
織をめざすもんでもない。新聞を出
すことだけの経営体や。とあえて
いうとき、もちろん既成の商業新聞
社・雑誌社のそれをしていているんや
ない。

むしろ従来の経営の概念をつぶし
てしまふことで、実はまったく新し
い—いままでの眼ではそれと思えな
い—運動と組織のあり方、つまり自
由連合の概念の創出をめざしている
と云える。(ぼくらが運動と組織というこ
ばをいえるのは、それにとつてもつきまとう歴史的
イメージを、ききく離れさせアカンならや。)

新聞経営やったら、人手不足はア
ルバイトを使うたらすむ。だが自由
は求めて、宛名がき用竹竹を充足
しさえすればええというもんやない。
宛名がきは、単に宛名をかくとい
う事務のことやない。宛名がきこそ
は自由連合や。ということにおいて、つ
まり宛名がきをする彼にとつてそれ
なしの新聞発行はもう自由連合やない。
ことにおいて自由連合が成り立っているん
や。

宛名がきは当然、彼は何回かやる
ことで、次のものにバトンタッチさ
れるやろ。なぜなら彼はその場を所
有したのではなく、仕事として受け
放っているからや。

だから彼は当然のこととして次の
ことに気付けねばならんやろ。

この二年間廿数号のあいだ、だれ
などのように宛名がきをやってきた
んか。あれのつぎには、誰などのさ
うにしてやるんか。その接点として
の自分な、前者なら継承し、後者へ
伝達していくことで、なにをつけ加
えることなできるんか。

つまり彼は前と以後のなかに彼自

2 自由とはなんや

B君の招集で、3日、カーブ
その編集社員増大会議のようなもの
がはなれた。

ぼくは3時頃ほど千コクへ途中ま
ちよつとピラ断りをして交番にひッ
ぱられるというハルニンタムで前半
のことはわからないが、ちやうどへ
自分の自由連合のイメージをなたる
ところや。無責任な記憶で発言
の一つ二つをアッパあけると—

C君「自由連合は自由連合主義の運
動に一定の役割を果すもの—その形
成をめざすものにならんとアカン」
D君「ぼくは自分の運動をモッ
てえへんかった。それで自由連合運動
やという幻想で近づいた。だが、自
連発行のための単純肉体労働に埋没
することだけやたら運動やない」
E君「自由連合の運動を知る
ことで、自分の運動になにを加え
るとおもてた。いまは、新聞発行
に関係することで、自分の運動を
いめいつくり出す。また自分の運動
を持ちこむ—それが自由連合やおも
う」その他編集技術や内容、仕事の
問題などいろいろ。

ところでC君の意見にぼくはひッ
くりした。それは自由連合のいままでの
あり方を、一ハ〇度転換する方向へ
すすむことや、と思った。

自由連合主義運動というとき、そ
れは、なつての「全国自由連合」とな
って、C君はどのようになつたもの
として、C君はとらえてるんか?
自己の運動内での閉塞された自由
連合主義は保証されても、外部にそ
れはどう提示するんか?

(4頁下段につづく)

アメリカの女性解放運動

まじやーマンと中絶として

吹き荒れる自由連合の嵐

今年になってから、アメリカでは三千個の爆弾が投げられている。もちろん、その大部分は、不良少年やギャング、全くの狂人の仕業であるが、政治的な動機によるものも大幅な増加がある。爆弾の目標になるのは、たいてい警察署や空っぽのビルである。死んでいった人もごくわずかにいるが、それはいいてい、爆弾を投げた人自身である。爆弾にさるビルの火災をあまりに平凡なもので、新聞は地方版でしか報道しない。爆弾の大部分は、ノンビクト・ラディカルの小さなグループによってなされたものである。(警察はこのようにテロリストグループをたばくしている)

約三年前、カリフォルニアのアーサギスト・コミュニティのメンバーたちが、数ヶ所を襲撃、爆弾した。これによって数人が逮捕された。他の人々は国外へ逃亡した。また昨年八月、カストロ主義者の四人が、ウイコンスイ大学の建物に爆弾した。予告の電話があったにも関わらず、爆弾によって一人の教授が死んだ。警察は、彼等がカスターに送られたと確信している。もっと最近では、三人の学生とそのうち二人は、ウーマン・リムーブに関係していると思われる。他の二人は、銀行強盗をして、逃げる時に一人の警官を殺した。二人の犯人はすぐ捕まったが、学生たちは逃げ去った。イリノイ州の小さな町でも、黒人二人が、ライフルで一日に三回、警察署を攻撃している。

ウエスターマンの思想

アメリカで唯一のテロリズムを實踐する、大きなグループは、ウエスターマンである。その名はボブ・ディランの歌の一節から取ったものである。本来、この名は、知らぬ未来の出来事を決定する、という意味である。最初は、ニューヨークのSDSの一部であり、そのリーダーは、一九六八年のコロンビア大学での学生ストライキの突進によって全国的名声を得ていた。一九六九年、SDSの

全国大会で、進歩的労働者を代表することに成功したウエスターマンは、騒々なあさったとき、すでに、SDSの事務所を占有することを止め、ミシガンやオハイオの支部に加え、いくさんの地方のグループとなっていた。

ウエスターマンの理論は常に曖昧であり、一種のギャング的な男らしさへの賛美や、アメリカ社会のすべてへの悪に対する、私的犯罪の強い感情に根ざしている。その思想は、ドイツのナチと同じである。また、自らスターリニストであると主張していることならして、私は、彼等が、浅薄な知識を持ち合わせていないのなを疑う。彼等はおそらく自分たち以外のごんな種類の運動を認めないだろう。

また彼等は、次のように確信している、アメリカはあまりに絶望的に民族主義的であり、ファッショ的であるので革命は決して起こらないだろう。そこで、こうして、ウエスターマンが、第三世界へアジア・アフリカにおける変革を助ける国際的緊張をこの地で創り出さねばならない。それは、ついには、完全にアメリカを塗り替えることになる。

昨秋のウエスターマンの軍事会議では「もしわれわれが、破壊行為をするのに充分な混乱を創り出せば、黒人たちはおそらく、われわれを殺すことはしないだろう」という見解を発表している。ウエスター・ビュロ(中央委員会)の見解は次のようなものである。「革命後、アメリカは第三世界の政治機関によって統治されるだろう。もしその統治にファッショが必要なら、この政治機関は現政府より、もっと強圧的であろう。これはおそらく、アメリカにその罪を、償わせるものであるが、新しいメンバーを得ることができるほど、よくに魅力的な計画というわけではない。

ウエスターマンは政治的変革に有効な

ウエスターマンは、ほとんど富裕な家庭の出身者ばかりである。地下にちくる以前は、他方たちは精神的な街頭闘争者のふりをするのを好み、ただ闘うことのみに魅せられると信じている若い労働者階級を魅きつけ

さうとしている人たちがあつた。彼等らは新しいメンバーを得るための宣伝行為にのみほんぞしていった。

昨年の10月、ウエスターマンは、シカゴで、一怒りの目撃と叫ばれるデモンストレーションをはじめとした。それ以前は、出版物を通じて、革命なすぐにでもあこるようなことを書いた。同じ新聞に闘争のさ中で傷を受けた足に包帯をする方法といったようなブセンズな記事を並べて載せたりしていた。

このデモンストレーションには約五百人の人々が集まった。警察は、他方たちは本当に真剣であることに気が付く前に少し破壊活動を行えたな、デモンストレーションはマン月に終ってしまった。ウエスターマンの衛隊を嫌っている左翼陣営全体からはこのデモンストレーションは嘲笑された。彼ら自身は、これを勝利として受け入れていた。なげなら、新聞は、ウエスターマンを狂える狂人と報道したけれども、この狂人たちは少くとも若い労働者を魅きつけていたからである。

今年早々、ニューヨークの最も富裕な地域の、あるウエスターマンのメンバーの両親の家が爆発するという事件が起きた。警察は爆弾跡に、四つのウエスターマンのリーダーの死体と、爆発してない数個の爆弾をみつけた。

この春、政府は、ウエスターマンの12名のリーダーに、一怒りの目撃の際中に暴動の陰謀をした、として逮捕命令を出した。しかしその時、一人だけを除いて、あつたすべては逃げ去ってしまった。組織全体のことには何も伝えられていない。彼らは地下にちくってしまつたのな、あるいは単に消滅したのなを推察することは不可能だろう。

一週間前(10月15日)、ハーバード・プリン・ウエスターマンの声明をすべてつくっているの録音したテープが、ある急進主義のグループに送られてきた。その中で他方は、「秋期攻勢」の開始を発表し、「生きる為に自らを武装せよ、そして撃て」と人々に訴えている。それ以後六つの政治的動機による爆弾事件があり、そのうち四つはウエスターマンによってなされたものであつた。

テロリズムは、政治的場をいまだ多くの効果があつたことではない。ウイコンスイ大学での敗北以来、



キューバに潜むスターリン主義

スターリンはキューバに生きている。観客から見えない無台座で、たつてレーニンのあとにまきに坐つて、今度はカストロのあとをぬらっている。激しい集権化を行なわれれば、キューバのスターリニズム化は避け難い。最近、私はキューバで、サレウキビ部隊の一員として、引き続き各地をめぐって、2ヶ月程留る機会を得た。私は、いたる所でキューバ人民の連帯感と革命的热情に出会い、深い感銘を受けた。キューバ人民は無階級社会の建設に献身的努力を払っている。しかし、特定の連中が経済的・政治的に人民の生活を管理しているなど、そのような社会の創出は可能なのは大いに疑問だ。しかし、キューバ人のだれひとりとしてそれを疑う者はいないというに思われた。

というのは、カストロは勤勉で正直な温かい男だ。彼は帝国主義者という奇形児に對して敢然と立ち向かい、人民の信頼を集めている。(帝国主義者という奇形児)の言葉は、キューバ人民が、アメリカの支配階級や、帝国主義の権威を押し進めようとする者たちを指しているに似ている。彼の率直さ、完璧な能力は、実際彼自身をもつて人民に示した行動によって疑われることはない。しかし、これはたいへん危険なことだ。なぜなら、人民の利益のために権力を行使する階級が存在するという事実と同時に、いきなり勝手に権力を行使することのできる階級が存在するという事実が、人民に隠されているからである。

許されていない自治管理

ある日、私はキャンブでも、砂糖さび畑での労働で一語だった一人のキューバ人に尋ねた。「どうしてわれわれアメリカ人には、キャンブ生活での完全な自治が許されてはいないのだろうか。彼はこの質問に答えないで、逆に尋ねた。「君は、アメリカ人が自治能力を身につけていると思っているのかもしれない。」われわれアメリカ人のグループには、まだ自治管理能力に欠けて

いる未熟なグループもあることはたしかだ。それらのグループの大部分は学生たちであるが、私はそれを表面だけで批判したくない。それな自分たちにとりしても受け入れられないなら、それであるのではないか。とにかく、人民が自らの集団を自治管理できないなどいふ理由で、キューバの特定の連中が個人として私的な身分の私生活に、介入してくるようなレーニン主義的体制のことで、私はそれに順応せざるを得なかった。

これは、正当な理由なく、個人の権利を、政府が抑圧する場合にききかたに用いる論理である。こういうふうにして行くと、自らの生活のすべの幸福を決定しているといふ時は、もうとりかえしのつかない譲歩をしてしまっている。

キューバ社会主義の矛盾

カストロの指導するレーニン主義政党は、ソビエト連邦はいつかは社会主義国家であると、キューバ人民に教えている。これはおそらく、キューバが経済的にソ連に非常に依存しているためであらう。同じ理由から、キューバはなぜソ連の手を借りて入を支持したかを推察することのできる。この党の方針のあいまいさは、ここであきらかだ。彼らは一方では米帝をやめろと非難しながら、ソ連の社会帝国主義政党を支持している。私は話をしたキューバ人は、この中らなに矛盾した事実について、疑問を感じていない。それといふのも、キューバもまた、ソ連路線を模倣して創られた階級社会であるからだ。政治的・経済的権力を行使するエリート階級と、彼等の決定に柔順なキューバ社会の大部分を占める人民階級がある。現時点での決定は、中らなに人民の利益のためになされている、このことに問題はない。

それにしても重要なのは、人民自身が行使すべき自治管理権を保持していないことである。

アメリカをつけたキューバ女性

アメリカ人のサレウキビ部隊の方にも問題があった。キャンブでの共同生活なら、何を学びとりアメリカに

に何を建設しようとしているのかが明確でなかった。もっとも問題だったのは、わざわざキューバまで、その固定した考え方をもち込んで、それを疑うことなく主張した連中がいたことである。

たとえば、女性解放運動の大部分の活動家は、「男性は無意識のうち、女性の圧制者である」と考えているが、その立場をキャンブ内で実践したため、サレウキビ部隊のアメリカ人は二つのグループに分裂してしまつたのである。女性たちはキャンブでのさまざまな委員会や、クラブにおける同等の地位を主張し、自分たちの権利を獲得するだけでなく、白人男性のほとんどは権利を奪った。その結果、われわれ男性はキャンブでは男たりのえななつた、女性解放に奉仕する三文役者になり下がつていた。

私はここで、男の等しい人権を信じていることを述べておくが、しかし、女性の権利がだたんに合理主義の産物として獲得されるなら、精神の健全さを保持するためにも、私はそれに反対せざるを得ない。女性解放運動のす口の男性活動家である、どこまでななつていふことを吐露している。私の会ったあるキューバ人は、アメリカ人のウーマンリズを大変好んでいた。しかしその娘は、口紅とサレウキビ(アメリカ女性の髪型)を、これは呪われた物のシンボルとなっているを付けていたため、二人のアメリカ女性に、「そんなものは革命とは何ら無縁だ」と批判されていた。

女性解放と黒人解放の困難

私は、アメリカで、中絶法の要求は、革命的な要求である主張する。最近、いくつかの州が中絶の合法性を認めたが、このことによって資本家たちが多少でも打撃を受けた様子は無い。ウーマン・リズはサンジリフトの考えるような、職業別労働組合と類似したものであるべきで、構成員一人一人は強く結束し、連帯して人民を搾取している者との闘いに立ち上らねばならない。

人種問題に關してアメリカ人の間にも意見の相違があり、黒人は黒人だけのサレウキビ部隊を編成していた。黒人たちはアメリカ人の間に強い人種差別のあることを指摘していた。また、エルトリコ人を彼らだけへ7頁につづく

はんば 船末記

EM WAGONYA
N-102 345-11-3
Trenezulo

六日夜、入館。そこは同じく、岐阜県ではなく滋賀県だった。仕事の内容も大違い。ひっかかった手配師をウラミながら、松茸狩に出る健康な山仕事を、毎日も毎日続いた。しかし、夜毎に政治談議に花を咲かせ、エゴエラントの話をしたAさんな契約切れで帰ったその時なら全ては一変した。

宙づりの命運

十五日、やっとAさんを含め四人な帰れることになった。やっとつぎの金の都合が、この理由で契約を三日間延ばされていたのだ。番頭の古川が代りの四人を連れ七時頃到着。古川が隣りの部屋で元請けの新井のオヤジと話をしている間、こちらの部屋ではもう帰れるという解放された空気と、初めての者同士ボロボロ話す妙に舌縮した空気とが溶けあめめまき時間だすぎて行く。そんな中でAさんな話し及てきた。「お前一人やなら十日では帰れんぞ。二ッ子もウツ子も行なんさうやった。逃げてでも帰った方がエエ、それでカントクキョウとセンターに電話するんや。」「僕と一緒に来たオッサンはその日のうちにトンコしてしまった。今日帰る連中、明日から何く連中の間にあって僕一人宙に浮いた形になっている。Aさんの言葉に、この不安を感じざるを得なかつたさうだ。

タム 金ノ都合

契約切れの十七日になって、迎えは来なかつた。そして追い打ちをかけるかのうに僕の両隣りに寝ていた二人が午前中にトンコしている。坊心へカントクな顔を下げながら僕に頼みに来た。「タム。もう二日はなし待ってくれ。金の都合が、頭に来た僕は、心の中、契約延長を今回限り

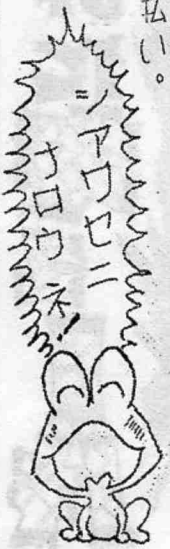
認めることは決めていた。エシナリと認めたら、更にダメなれることは目にみえている。ヨネ言葉の一つとして契約違反という言葉を出した瞬間、隣りで話を聞いていた梅田は口を閉じ込めて来た。「お前はさっきから自分の都合はつなし言うところけどヨネ、コッ子の都合はどおしてくるんヨ。」「梅田は純粋の口又三町のアンコ。我々と同じ契約で来たが、高が出来るので重宝なられ、もう一ヶ月は経つと聞く。今では諸式まで受け持つ成上り者へと言えは言過ぎな。」「それにヨネ、お前みたいな若僧にヨウ、坊心はさっきから何回も頭下げて頼んどんやないけえ。」「ここまで話が進めば僕の方も返す言葉に迷った。もう感情と感情の対応しな残されてない。としても僕は体面に自信はない。僕の如き小心の卑怯者の知る道は、適当にウビをいれ、自分のプライドを傷つけぬ程度に二日後には帰してもらえ、口約束を取る。この道ぐらいのものだった。

一人の忠告

長いイヤな二日間だった。他の二人のアンコと僕の交わりも視線には異様な質が感得できた。それは僕への嫌悪感ではなく、彼ら自身へのそれであつたさうだ。四十を若干すぎたと思われ二人の忠告は帰れるまで丹マンする。四ヘタを打つ前にトンコセンターへ届ける。この二つに集約された。「ナンド俺うなここで固きれへんネン」という僕のあきらめ気味でさある言葉に彼らは沈黙を守った。

資金は平手三発

最終的には暴力的に飯場を迫られた。暴力的にいつても、平手で三発、メチネンとんだ程度のこと。もちろん元請けのオヤジな止めに入つたから助かったまでの話。資金は一切不払い。



泣き寝入りの自己完結

異常な暴力的状況の中で冷静で論理的な対応を示す事は不可能だった。狭視的に見るなら、その暴力的状況を生み出したのは僕自身の言動である。しかし僕自身の言動は雇用の暴力的契約違反を追求する正当性に裏打ちされたものであつても、不可避的に暴力的状況を生みだされていったらう。それを避け得る道は、僕が腰を折って「もう二日お願いします」という以外になく隷属的な自己を強要することだ。ソナコトシタウイモネ、ボク。デモ本当イウトコウカッウモネ。コロサレルカオモネ。

相手はヤウザであり、非論理的な精神主義の世界に生きる生物だから論理的対応などないとも言える。しかし「金いらんのな」と言われ、「そんなモンいるな」ナンテ言ってしまった。

(下条 薫)

(一頁のつぎ)

大正期のアナ、ボル論争のうちにまた、アナギタム、動という大ワウの中をさえも、他のアナ派と対するものとしての自連派に、なつてしまふんではないか。X運動はなならず相対的セクトとして至少化する。これは事実な教える。それは自連主義をなげき、仲間欲しさの一時的の集団つくりとどこぞちなうんね。C君は、さうでないことにおいて、そのような自由連合を、につくろうとしているんか？

(サンネンデラ。中途。乞食号御期待)

菰田 周吉

自由連合社

自由連合社と革命

自由連合社と革命は11月21日現在、丹り切り50%終了。印刷は第一章完了です。遅れてあり、御迷惑をおかけしてあります。もうしばらく御容赦下さい。すみません。

自由連合社「革命」発行責任者

お檀市平巻(系丸子め) 上村方(定価50円)
68年以後、様々な潮流を知らみつ、怒とうのごとく日本列島を襲った大津波は、その最後の周期である。23の大氾濫のあと、静かに潮を引いてゆくように思われる。そして現在、この後退戦のななで、ゆな左翼陣営は、はつきり区別できる二つの傾向に分裂しつつある。

一方に、思想のフグヲツキを切り
貼りして快にいつている時代おくれ
の前衛患者なあり、もう一方には、
現象的事実にしなみつき、すうたまた
ティックに揺れ動いている疑似大衆
主義者なある。われわれは、実存を
捨象した政治利用主義とも、政治を
縁である。われわれの闘争は、この
ような対極的な二つの潮流を自己の
内部において激突させることならぬ
められるだろう。願わくば、この難
詰なその惨たる現場とならんことを

無敵の府月報

東京都中野区羽根4の410松葉荘内 東行 青丘社

定価 三〇〇円

△LW背叛社閩争報告／背叛社事件公判閩争報告／田無事件公判閩争報告／OTS活動報告／大平洋問題と大陸中国

作 伝言板 作

刻 日本無政府主義運動史 一編

連絡局、群馬県伊勢崎市中町和田大島英三郎より

定価 三〇〇円（振替 宇都宮二〇一五）

日本無政府主義の由來／石川三郎郎、沈潜期以後―社会主義同盟の解散まで／近藤憲二、「総連合」の事実とその前後／北沼辰夫、震災後の無政府主義運動／古川時雄、福田十将狙撃事件へギロチン社事件への判決、のちわれた法服時代／宇野重三

東京市豊島区南池袋1-15の21番中ビル内

党派のみならず無党派のなるまでこ
 えへ党々幻想は根強い。60年代闘争
 において、へ党々あやひ党派の現実
 な暴露されたのだが、それを党建設
 の誤りとし及見ずへ党々原則そのた
 のへの疑義とはせず、一層そのへ
 党々幻想を強くした観すらある。こ
 のごごやなな雑誌を発行している我
 々の闘争への視点は、反体制運動で
 ありながらもそれ自身な一つのヘミ
 二体制として闘争を収奪する政治
 的諸党派の歪曲に抗しつつ、いかに
 して真の自己解放、自己実現の闘争
 をへ政治々をこえたものとして組
 むるなというところにある。

60年代型即争及らの根底的訣別を
一地域反乱即争の革命的展開へ、
明への反乱のためにノ江口幹、柳氏
の根源は何なりW・ライヒ著作譯、
自己権力論ノオトのノ蓮台寺晋、X
の精神を賞醒させ解放に至るの道
一立大即争中間総括

リヂキツレの片を綴じし紙
の部隊を作っていた。とるに定らな
い考えの相違なら、しばしばどち
なを排斥したりすることもある。リ
メリカ人な、たないに無用な排外を
しないで生活を営んでいたなら、合
裂しないで、もっとうまくやれたに
らう。

結論として
 ××××××××
 これらはすべてキャンバスにあける
 否定的な出来事であるが、事実をば
 っかり知ってあくことは大切である
 人民は、いかに主人な慈善心に富
 んださうに見えても、雇用者であるこ
 とにvariがないことを知るべきだ。
 権力と権力とは次のように述べてい
 る。権力を乱用しない政府、圧制的な
 ない政府、公平で、すべての階級
 利益を考へる政府、そのような政府
 は、田を方形にするように、決して
 ありえない。それは、人間の自然
 の性格にさならうものだからである
 政治権力は、時には敵対する階級
 と共存することができる。しかしそ
 れは、社会の階級構造を決して消滅
 させはしない。アメリカに帰ったサ
 トウキビ部隊のメンバーたちは、サ
 ユーパ体制を絶賛しているが、彼
 は真の人間性の自由について愚直な
 無関心なのどちらだ。彼らは人類
 の支配者の位置に自分たちを取っ
 代めようとしている。
 まるで力力のサンジナリスト機関

自由連合の主張

70.11.21 投稿かんげい
(旧・自由発言)

先日、しばらく会わなかった友人が訪ねてきた。ひどくいなり風貌に似ず、優しいあだやなな調子で、「村道りは着実に進んでいる」と彼はいう。

半日かけて建てた彼らのすきい、今では多いときには20人も集まりしている、という。

彼らなほ年に出した詩集と編集後記を以下に無断で引用、抄出する。

③「自由連合」の精神的周辺④

「この詩集は我々自身に対する挑戦であると同時に現代の模範とした狂気の世紀に対する無垢な魂の反響でもある。

我々は今、心から希求している自由とは政治的な認識を遂げに超えたところにある。それは現代にあって現代から最もだけ離れに時空である。

この詩集の一つ一つの感情を息づけているのは生命体を物質化させようとする現代の非人間的傾向を打破しようとする強靱な原初の要求である。

日常の神経質な意識の背後で大きく息づいている太古の心臓を見失ってはならない。

我々は宣言する、20世紀の文明に抗峙する異人種だ。アフリカの柔らかな自由の原住民を不毛な力にハリ砂漠に追いやってたエロイステイフな物質文明なるものを信じないならである。

我々は中途半端な改革論者を信じない。

他国の悲劇に同情を寄せる金持ちのみた平和論者を信じない。

或る意味で我々こそ真の革命者であると言えよう。

弱者を抹殺される民主主義的ルールとは口をスウな政治機構ではないな!!さめさめとたけを吐く弱者達よ。お前たちを保護してくるのには嫌だ。

見る、自由諸国の旗手アメリカのヘトナムにおける教祖め残虐

行為を。去勢された平和論者には強力な勃起をさめあさる性欲こそ必要なのだ。……

手あなやシミで汚れた詩集の西頁には、彼等の共通の友人山屋三省のこんな詩が載っている。

「東京NO.1」
赤ん坊をひごの上にのせ あれは手帳を閉っばらう
ちよこんと坐っている眼だけな赤ん坊

父ちゃんは今度ビートひけをばやすことにした。
父ちゃんひけはきばらで短いでもそのうち天の河のうに立派に流れるかも知れない

中略

街では今晩戦後最大の祭一ストライキが用意されている
品川に生半端な集ったとニュースがいう

赤ん坊をひごの上にのせあれは今晩を酔っばらう
やなて赤ん坊をあつぽり出し電柱にかけのぼる

ポリ公を許すな
線路に杭を打ちこめ
街を燃え上らせる

するとたったひとりのオ四機動隊がきて
静まれ 静まれ
ゆとりを十台呼ぶぞとどなる

冷えて行く酔いに逆らっておれは赤ん坊に話してさなせる
街にストがある限り父ちゃんはやなはねはねない

街にストがある限り父ちゃんはやなはねはねない
どどビートひけを生やす
街にストがあつてもなくても父ちゃんはやなはねはねない

街にストがある限り父ちゃんはやなはねはねない
どどビートひけを生やす
街にストがあつてもなくても父ちゃんはやなはねはねない

街にストがある限り父ちゃんはやなはねはねない
どどビートひけを生やす
街にストがあつてもなくても父ちゃんはやなはねはねない

街にストがある限り父ちゃんはやなはねはねない
どどビートひけを生やす
街にストがあつてもなくても父ちゃんはやなはねはねない

街にストがある限り父ちゃんはやなはねはねない
どどビートひけを生やす
街にストがあつてもなくても父ちゃんはやなはねはねない

街にストがある限り父ちゃんはやなはねはねない
どどビートひけを生やす
街にストがあつてもなくても父ちゃんはやなはねはねない

街にストがある限り父ちゃんはやなはねはねない
どどビートひけを生やす
街にストがあつてもなくても父ちゃんはやなはねはねない

街にストがある限り父ちゃんはやなはねはねない
どどビートひけを生やす
街にストがあつてもなくても父ちゃんはやなはねはねない

金ヶ崎特集に関するアンケートの中からは

この8月、自連のメンバーが金ヶ崎でキャンとするというので私も行くつもりであった。だが、彼らに同行する数日前、他に仕事が見つかったのでも私は参加しなかった。

わずかな数日の金ヶ崎らしい。早急に彼らにささざる回答や連絡を求めた。結果は、とある。

神切日?に迫られて、時間を気にしながらしほり出されてきたような酒はうまいハズはない。

以下は、金ヶ崎特集に寄せられた賛意や批判の断片である。

「かまがき、についての自連、さかたに思います。私いもあるたが力マワリキとさんでいる所で生れたのです。でもなにもあはえていません。けれど私の心の中には、力マワリキに対するキョウシユウな根ぶかくあるのです。来春に力マワリキでワーワーキャンをするさうですが、それは短い期間のキャンでなく力マワリキで、その地の人の中で少しくらしを見てらどうでさうな。

「甘いなあ、オマタミ戦術の限界を知らんのか。差別は強でいくら考えてもアカンのや。理論的でカッコええッモリな。

「外部の者な、金でしか生活出来ない人間のオンネンのさうなものを共有出来たのさうな?そ以外にはどこへも行けない人間にとつての革命とは何なの、この課題を僕らは70年という現在、考えてみねば。と思います。

(東京 K・K)
今月担当 亞

編集長P氏が絶望しているのが急げリリーフ。七行だけ違う字が出てくるのを我慢して下さい。IOM三氏に酷使されたP氏のオノロケ間水されて、どうすりゃいいのさ思案橋。一人ぼっちのぼくを慰めてくれるか、是非Aアジトヘドロー。

編集長P氏が絶望しているのが急げリリーフ。七行だけ違う字が出てくるのを我慢して下さい。IOM三氏に酷使されたP氏のオノロケ間水されて、どうすりゃいいのさ思案橋。一人ぼっちのぼくを慰めてくれるか、是非Aアジトヘドロー。

編集長P氏が絶望しているのが急げリリーフ。七行だけ違う字が出てくるのを我慢して下さい。IOM三氏に酷使されたP氏のオノロケ間水されて、どうすりゃいいのさ思案橋。一人ぼっちのぼくを慰めてくれるか、是非Aアジトヘドロー。

編集長P氏が絶望しているのが急げリリーフ。七行だけ違う字が出てくるのを我慢して下さい。IOM三氏に酷使されたP氏のオノロケ間水されて、どうすりゃいいのさ思案橋。一人ぼっちのぼくを慰めてくれるか、是非Aアジトヘドロー。

編集長P氏が絶望しているのが急げリリーフ。七行だけ違う字が出てくるのを我慢して下さい。IOM三氏に酷使されたP氏のオノロケ間水されて、どうすりゃいいのさ思案橋。一人ぼっちのぼくを慰めてくれるか、是非Aアジトヘドロー。

編集長P氏が絶望しているのが急げリリーフ。七行だけ違う字が出てくるのを我慢して下さい。IOM三氏に酷使されたP氏のオノロケ間水されて、どうすりゃいいのさ思案橋。一人ぼっちのぼくを慰めてくれるか、是非Aアジトヘドロー。

編集長P氏が絶望しているのが急げリリーフ。七行だけ違う字が出てくるのを我慢して下さい。IOM三氏に酷使されたP氏のオノロケ間水されて、どうすりゃいいのさ思案橋。一人ぼっちのぼくを慰めてくれるか、是非Aアジトヘドロー。

編集長P氏が絶望しているのが急げリリーフ。七行だけ違う字が出てくるのを我慢して下さい。IOM三氏に酷使されたP氏のオノロケ間水されて、どうすりゃいいのさ思案橋。一人ぼっちのぼくを慰めてくれるか、是非Aアジトヘドロー。

編集長P氏が絶望しているのが急げリリーフ。七行だけ違う字が出てくるのを我慢して下さい。IOM三氏に酷使されたP氏のオノロケ間水されて、どうすりゃいいのさ思案橋。一人ぼっちのぼくを慰めてくれるか、是非Aアジトヘドロー。

編集長P氏が絶望しているのが急げリリーフ。七行だけ違う字が出てくるのを我慢して下さい。IOM三氏に酷使されたP氏のオノロケ間水されて、どうすりゃいいのさ思案橋。一人ぼっちのぼくを慰めてくれるか、是非Aアジトヘドロー。